

大地



すすんで学ぶ子 仲よく助け合う子
ねばり強くやりとげる子 明るく元気な子

「早寝・早起き・朝ごはん」に家庭学習を

TEL 377-7000 FAX 377-7520

平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

校長 菅原 聡

4月18日（火）に実施いたしました「平成29年度全国学力学習状況調査」の結果が道教委から公表され、6学年の保護者の皆様には、過日、お知らせ文書とともに「個人票」を配付いたしました。

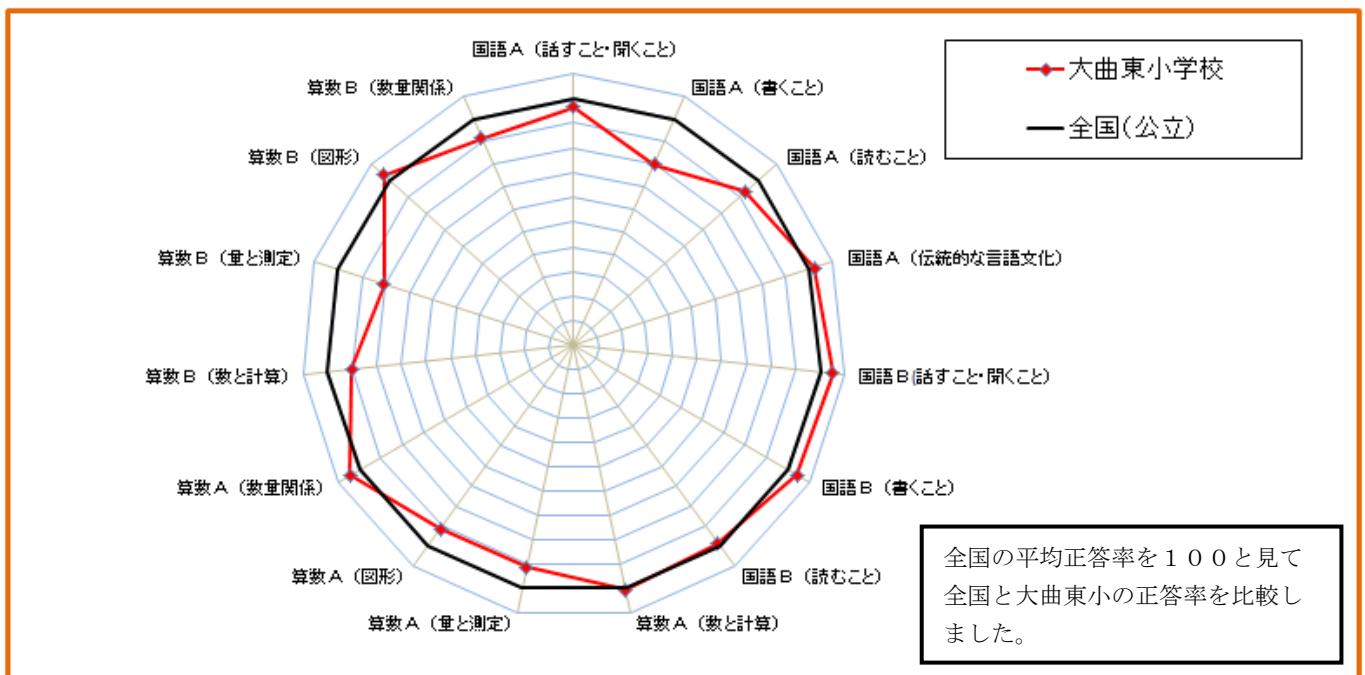
学力調査からうかがえる本校におけるおおよその傾向をお知らせします。この結果を真摯に受け止め、今後の本校児童の学力がさらに向上するよう職員一丸となって指導工夫改善に努めて参ります。

なお不明な点がありましたら、学校までお問い合わせください。

【本校の現状と課題】

全国正答率と本校正答率の比較

国語 A (主として知識に関する問題)	全国平均正答率と比較し、同様な状況です。
国語 B (主として活用に関する問題)	全国平均正答率と比較し、同様な状況です。
算数 A (主として知識に関する問題)	全国平均正答率と比較し、同様な状況です。
算数 B (主として活用に関する問題)	全国平均正答率と比較し、やや低い状況です。



☆国語ABの結果概要

○正答率が高く、学力の定着が見られた項目

- ・今まで習った漢字の正しい読み書き
- ・目的やねらいに応じて、話のつくりや内容を工夫し、場に合った適切な言葉を選んで自分の考えを話すこと
- ・話のつくりを工夫してわかりやすく話すこと
- ・目的やねらいをつかんで、文章全体のつくりを考えること

☆算数ABの結果概要

○正答率が高く、学力の定着が見られた項目

- ・小数の混じった四則計算（例： $6 + 0.5 \times 2$ ）
- ・複雑な問題の料金の求め方を考えることと答えを書くこと
- ・割合を求め、正しいグラフを選ぶこと

●誤答や無解答が多く、今後強化していきたい項目

- ・目的やねらいをつかみ、内容の中心をあきらかにして詳しく書くこと
- ・目的やねらいをつかみ、適切な言葉をつかって話すこと
- ・目的やねらいをつかみ、必要な内容を整理して書くこと

●誤答や無解答が多く、今後強化していきたい項目

- ・割り算の式を分数で表すこと（ $5 \div 9 = 5/9$ ）
- ・平均の求め方を生かして、平均の数を求めること

「学力学習状況調査（児童質問紙）」における学力向上に関連すると思われる項目

【生活に関連して】

○地域社会などでボランティア活動に参加したことがある児童の割合がかなり高いです。

●テレビゲーム（コンピュータ型・携帯型）利用時間が、長い傾向にあり、4時間以上の児童は全体の20%になります。今年度に限ったことではなく、毎年同じ傾向があり課題となっています。

○いじめはどんな理由があってもいけないと考えている児童が98.5%となっています。

【学習に関連して】

○家で授業の復習をしている割合が、全国の平均よりも高くなっています。

○原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと思っている児童の割合が少ないです。

●平日に読書をする時間が全国の平均よりも短くなっています。

学校全体でこんなとりくみをしています

学習環境を整えます

- ・朝学習「PUT」を続けます。
- ・学習道具・学習準備・学習中のきまりを徹底します。→「学びの7カ条」
- ・「大曲スタンダード」の定着を強化します。
- ・ノートの使い方（国語・算数）を徹底します。

望ましい集団をつくります

- ・各種アンケートを分析し、児童理解と望ましい人間関係の構築、いじめ、不登校の未然防止を図ります。
- ・道徳教育による心をたがやす授業・活動の充実を図ります。
- ・自己有用感を持たせる関わり方をたくさんします。

「小中一貫教育」を推進します

- ・来年度から本格的に始められるようにしっかり準備を進めます。大曲中学校と大曲小学校と連携を密にし、9年間の学びをデザインして大曲中学校区での学力向上の方策を確立します。
- ・中学校の先生が小学校で授業をします。
- ・中学校模擬テストを実施します。

授業を改善します

- ・個に応じた習熟度別少人数指導とチームティーチングを進めます。
- ・一単位時間の中に習熟の時間を必ず設定し、学習内容の定着を図ります。
- ・ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業作りを進めます。

教師力を向上します

- ・「わかった」「できた」「次の課題にも挑戦しよう」を導き出す意欲をかきたてる授業作りをします。
- ・「授業力改善推進チームの職員」に授業の進め方を見てもらう等、授業のスキルアップを図ります。

家庭・地域と連携します

- ・「小中一貫教育・家庭学習の手引き」を通して家庭と共通理解を図ります。
- ・学習、生活通信「東風」や「大曲のせいかつ」を発行し、情報を伝えます。
- ・毎週の学年通信に「家庭学習のヒント」を明記し、自発的な学習を促します。

家庭・保護者の皆様に協力をお願いします

学校で上記のように指導しますが、ご家庭の協力を得ると子どもたちの潜在能力が更に発揮されと思います。お願いですが、ご家庭でお子さんにつきのようになさっていただければ、ありがたいです。

- ① どんな小さなことでも最後までできたら、ほめてあげてください。
- ② 将来の夢を話題にしてください。
- ③ テレビ、ゲーム、インターネット、スマホ等の時間を減らしてください。
- ④ 約束やきまり、ルールの大切さを具体的に話してあげてください。
- ⑤ 勉強時間を少しずつ増やしてください。
- ⑥ 家族で学校での話を聞いてあげてください。
- ⑦ 困っている人を助ける心をふくらませてあげてください。
- ⑧ 人の役に立つ大切さを日常的に話してあげてください。
- ⑨ 読書を勧めてください。読書は心を豊かにします。